

## 職場における熱中症の最近の発生状況(茨城県内)

### 熱中症の発生状況(休業4日以上労働災害)

		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計
発生件数		7	2	(3) 24	14	9	(3) 12	(1) 30	13	10	(1) 11	(8) 132
年齢別	～19歳				1	2		2			1	6
	20～29歳	1	1		2	1	(1) 1	7	2	3	3	(1) 21
	30～39歳	2	1	(2) 6	7	2	(1) 3	4	2		3	(3) 30
	40～49歳	2		7	3	2	(1) 3	7	1	3	1	(1) 29
	50～59歳			6	1	2	5	(1) 5	6	2		(1) 27
	60歳～	2		(1) 4	1			5	2	2	(1) 3	(2) 19
業種別	製造業		1	(1) 10	3	2	3	8	4	4	3	(1) 38
	建設業	1	1	4	4	3	(2) 4	(1) 9	5	4	(1) 2	(4) 37
	運送業	2		4	2	1		3	2		2	16
	その他	4		(2) 6	5	3	(1) 5	10	2	2	4	(3) 41
性別	男	6	2	(3) 22	13	9	(3) 9	(1) 24	13	8	(1) 8	(8) 114
	女	1		2	1		3	6		2	3	18

資料出所：労働者死傷病報告。なお( )内は死亡者数で内数。

#### (1) 熱中症による発生件数の推移

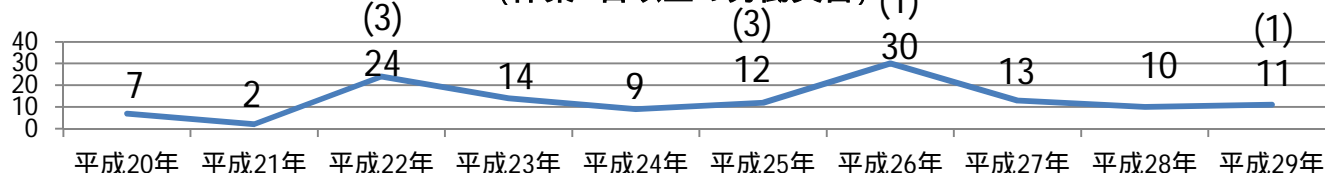
職場での熱中症による死傷者数は、平成20年以降、平成26年の30人が最も多く、業種別では、建設業と製造業の2業種で全体の約6割(57%)を占めています。

死亡災害は、平成22年と平成25年に3人、平成26年と平成29年に1人発生しています。

月別で見ると7～8月に多く発生しています。特に梅雨明け直後の暑さに慣れるまでの間、十分に休憩を取りながら徐々に身体を慣らす(熱への順化)とともに、その後も暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮などにより熱中症を予防しましょう。

### 熱中症の発生件数の推移

(休業4日以上労働災害) (1)

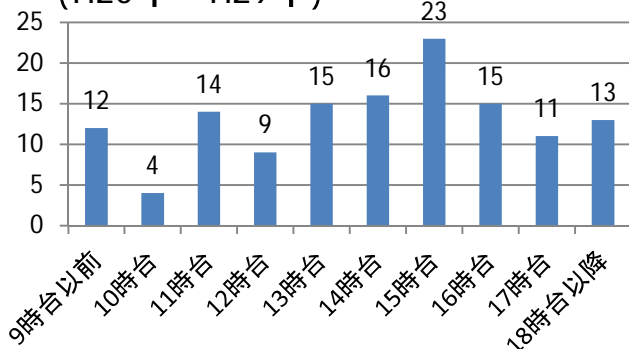


#### (2) 時間帯別では、ほぼ平均的に発生していますが、15時台に多く発生しています。

また、日中の作業終了後に帰宅してから体調が悪化するケースも散見されますので、異常を感じたらすぐに病院へ受診するか、救急隊を要請しましょう。

#### 時間帯別発生状況

(H20年～H29年)



#### 月別発生状況

(H20年～H29年)

